
テストの一週間戦争

葦原那岐沙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テストの一週間戦争

【Nコード】

N1954K

【作者名】

葦原那岐沙

【あらすじ】

テストとは学生たちにとっての戦争である。何週間も前から勉強をする者、一夜漬けの者、はたまた何も出来ないorしないもの。栄光な勝利を収めるか、無残な敗北をきするか、アナタはどちら？

（前書き）

この前見た戦争の映画と、現在テスト真っ盛りの自分を題材に、両者をミックスしてみた何ともくだらない短編小説です。

この小説をクリックしてくれた読者様に、多大なる感謝を！

世の学生達はテスト前になると、己の手によって徴兵される。

各々が確固たる目標、意志を抱き、今度こそこの戦いに勝利せんと企む。

学校では己の全てをかけて特攻する突撃兵士になり、家では絶対なる策を考える参謀兵へと変身する。

だが大概の者は定期的に行われるこの戦争の来襲により、意志薄弱、自己嫌悪、と言った症状が表れるものだ。

勉強などやりたくないが、とりあえず机に向かっておこうとする意気込みを胸にし、早歩きで学校から帰還。

自宅で、いやこの世で一番寛げる場所『自分の部屋』に閉じこもる。まずは堅苦しい制服を脱ぎ棄て、動きやすい自宅専用のラフな格好になる。

そして『テストの三種の神器』である、『筆記用具』『ノート』『教科書』を、散らかった机の上へと淡々と並べる。

幾度も共に戦場を歩んできた愛用の武器（シャーペン）を持ち、進級する度に生まれ変わる教科書のページを開き、すでに何十代目かもわからないノートから白紙のページを用意する。

戦争へ打ち勝つための全ての準備が整った。

眼球を動かし教科書を横目で見つめ、武器（シャーペン）から生み出される字を、白紙のノートの上に滑らすように配置する。さながら、どこに兵を配置すれば勝てるかを考える策士のように。

が。

十分もしない内にすぐに手は止まった。

突然の来襲、いや奇襲とも言えるお母さんの登場。

何気ない用事で、自分の部屋の扉をノックもせずに入ってくる。入る際はノックしろと、一体何度言えば覚えるのか、いつも頭が痛い。多分一生覚えなidtharougが。

本当にどうでもよい用事なので、多少の怒りを含めて『今は勉強中

だから邪魔しないで』と言い放ち、お母さんも素直に退散する。

勉強机に目を戻し、教科書を覗く。

しかし、もとより集中力のない自分だ。この予期せぬ親の介入により心の陣形は一気に崩れる。

『何か部屋汚いなー』

『あれ？ 前に借りた本どこに置いたっけ？』

『結局あの映画の結末どうなったんだっけなあ・・・』

『あーお腹空いたなー』

『それに喉も乾いたなー』

『あ、昨日のドラマ録画したんだった』

こんな風に、一気に色々な事が気になりだした。

結果、自分はその『気になる事』を、無意識のうちに最優先させ解決しようとする。

普段はやらない部屋の掃除を快く行い。

なくしかけた物の存在が今までに類を見ない焦りと絶望に変わり、頭の中の情報を元に必死に見つけ出し希望を得る。

普段ではどうでもいいような内容を忘れたら、何としても調べ尽くし、多少の爽快感と一緒に思い出す。

喉が渴き小腹が空いたら兵糧庫リベシヤに行き、食べ物**を強奪し己の渴望を沈める。**

いつもなら山積みにしておく録画内容も、異常なまでに中が気になりだし、最悪の場合一から見直す。

最終的にはテスト勉強など二の次三の次。先程までの意気込みはどこへやら。

戦争に対する対策もしないまま、夜はすぐに更けていき、現状にある己の知識ぶきを手に学校せんじょうへと向かう。

それはさながら、壊れかけた銃器を持って戦場に行くが如く。そのような装備で戦場に向かうなど愚の愚、待っている結末など言わずとして知れている。

必然的な無条件降伏、圧倒的な火力差むずかしさ、敵の未知の兵器テスト もんだい、体力と精神の枯渴。

そして待つのは親が激昂する未来だけ。

先程まで抱いていた『でも、何とかなるであろつ』とゆう愚かで陳腐な幻想は消え失せ、武器はいつものように字を産み出さない。シャープ

周りを見ると自分と同じ境遇の人は多い。顔を見ればすぐ分かる、同じ死線を潜りぬけてきた仲間たちなのだから。

『明日のテストこそ必ず！』と、昨日よりも激しい想いを胸に秘め、家へと帰還する。

ここで立て直す人もいるだろう、だが立て直せない人もいる。

テスト最終日に待つのは勝利の余韻に浸りながら帰還するか、はたまた、哀愁漂う背中を背にし帰還するか。

自分がどちら側の人間なのかはよく知っているつもりだ。

いつか、この一週間戦争を勝利に収める時が来るのを夢にし、私は今日もまた学校へと向かう。

（後書き）

さて、アナタはどちらでしょうか？勉強をちゃんとする派？一夜漬
け派？はたまた何もしない派でしょうか？

自分は勿論一夜漬けです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1954k/>

テストの一週間戦争

2011年1月26日09時09分発行